科目ナンバリング	U-LAS04 10011 LJ45						
授業科目名<英訳>	社会学II Sociology II			担当者所属職名・氏名	地球環境学舎 准教授　朴　沙羅		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	月2/水1	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

この授業は国際移動・移住（international migration、以下「国際移住」）という現象を通じて、社会学的な用語や概念、議論の組み立て方を学んでもらうことを目的にしています。同時に、社会学が扱ってきた重要な話題（個人・家族・教育・格差・差別・ジェンダーなど）が国際移住という現象を分析する様子を見て理解してもらうことも目的です。また、日本の出入国管理政策や外国人・移住者の置かれている状況を国際的な視点から検討します。
人口減少と労働力不足が喫緊の問題となる中、移住者を積極的に受け入れることを提唱する国や団体がある一方で、「文化摩擦」や「外国人問題」の発生を懸念する声も聞かれます。現代世界にとって重要な話題を通じて、社会学者たちの議論を追ってみましょう。

[到達目標]

・社会学者たちが、国際移住という現象を説明ために用いてきた語彙や概念を複数個とり上げて説明できる
・福祉・格差・ジェンダー・差別・文化・アイデンティティといった社会学の重要な話題について、国際移住の研究がどのように貢献してきたか指摘できる
・国際移住が現代社会のどのような側面から生まれ、どのように影響を及ぼしているか説明できる

[授業計画と内容]

基本的に、以下の計画に従って講義を進める。ただし、受講者の状況などに応じて、順番や内容を変更する可能性がある。
1. オリエンテーション
2. 社会学と国際移住
3. 移住動機と移民理論（1）
4. 移住動機と移民理論（2）
5. 移民の統合（1）労働と政治参加
6. 移民の統合（2）教育と文化
7. 移民の統合（3）格差と差別
8. 中間フィードバック（詳細は授業中に指示します）
9. 社会福祉と国際移住
10. エスニシティとアイデンティティ
11. ジェンダー・家族と国際移住
12. 難民と非正規移住
13. 出入国管理政策と国際政治
14. 授業のまとめとふりかえり
15. 最終フィードバック（詳細は授業中に指示します）

社会学II(2)へ続く↓↓↓

社会学II(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義の最初に提出する目標レポート(2.5%)、講義の最後に提出する振り返りレポート（2.5%）、毎授業後に提出する平常課題（30%）、中間フィードバック（25%）、最終フィードバック（40%）を総合して成績を評価します。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

担当教員がこの課題に取り組んだ場合、予習90分、復習60分くらいかかるものと想定しています。
学習管理システムの刷新に伴い、課題をすべて手書きで提出していただく可能性があります。

[その他（オフィスアワー等）]

履修人数をアクティブラーニングに適した人数に制限する。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部